

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		狭あい道路拡幅整備				所管	都市づくり部 建築課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	83	計画事業名	狭あい道路拡幅整備		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					[事業開始] 平成 4 年度			
		[小 柱] (1)暮らしを支える都市基盤の充実					[終了予定] - 年度			
		[施策] ②防災都市づくりの推進								
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区狭あい道路拡幅整備条例・同施行規則					
	事業対象	直接の対象 : 狭あい道路に接する敷地で建築等を行う建築主 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区内には数多くの狭あい道路が存在し、住みよい環境づくりの面で多くの課題を抱えている。狭あい道路の拡幅整備を支援することで、これら課題を解消し、防災性や住環境の向上を図り、安全で快適なまちづくりを推進することを目的とする。								
事業内容 [29年度]	狭あい道路(幅員4m未満の道で、建築基準法の規定により区が指定した道路)に接する敷地で建築等を行う際、確実に後退部分の舗装整備が行われるよう本事業を実施し、狭あい道路の解消を図る。 ・本区が狭あい道路の拡幅整備のために必要となる用地を舗装整備する。 ・狭あい道路の拡幅部分の整備(門、塀、樹木等の除去・移設)費用の一部を補助する。 ・本事業によって拡幅整備が行われた部分には、後退済標示板を設置する。									
委託の有無	なし		委託内容		なし					
補助金の有無	国									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	拡幅整備協議件数(任意含む)		件	220	219	216	250	170	147.1%
		狭あい道路拡幅整備延長		m	900	1,064	1,173	916	900	101.8%
	成果指標	狭あい道路拡幅整備延長(累計)		m	27,464	23,575	24,748	25,664	25,648	100.1%
		狭あい道路拡幅整備率		%	26.3	22.6	23.7	24.6	24.3	101.2%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				130,809		106,192		130,237
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				24,060		26,751		27,877
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				120		121		121
		総経費				130,690		106,071		130,116
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		4,051		3,536	
	一般財源(区負担額)				154,870		128,892		154,578	
前回評価から29年度に改善した事項	土木課、道路管理課と連携を図り、国の交付金資料の作成、拡幅整備工事立会いの日程調整及び施工方法の確認等、情報共有しながら適正な執行管理ができるよう努めた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	安全で快適な災害に強いまちづくりを進めていくためには、狭あい道路を解消することが必要である。							
	効率性	3	建築主の協力の下、土地の使用承諾等により取得費用がかからないため、狭あい道路の拡幅整備費が軽減される。							
	手段の適切性	3	建築基準法では道路後退部分の舗装整備は義務付けていない。門扉や塀等の道路突出を抑止し、道路幅員を確保するためにも本事業による拡幅整備を実施することは適切である。							
	目的達成度	4	建築主への狭あい道路拡幅整備の必要性や制度の普及啓発により、建築等更新時の狭あい道路整備率は年々向上している。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
本事業の実現には長期間を要するが、普及啓発の効果もあり、整備率は年々向上している。また、本事業を実施することで、建築基準法上の道路位置が明確になり、門扉や塀等の道路突出を抑止する効果もあるため、引き続き、建築主の理解と協力の下、安全で快適な災害に強いまちづくりを推進していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		